

2011 年度 第 1 回資源・リサイクル小委員会議事録

日 時：2011 年 6 月 29 日(水)10:00～11:10

場 所：80 年館 7 階会議室角 総合棟 4 階第 3C

出席者：

杉原(学生センター) 金子(事業室) 碓井(学務部学部事務課)
佐藤(学生センター多摩学生生活課) 濱田 (多摩事務部総務課)
田村(学務部学部事務課) 近藤(学務部学部事務課)
柴岡(学務部学部事務課) 洪澤(学生センター市ヶ谷学生生活課)
環境センター 鈴木

報告事項

1. 委員の紹介

座長より委員の紹介を行った。

2. 一般廃棄物・コピー・リソ・OA 用紙使用量

事業室金子委員より、資料に基づき 2010 年度年間のコピー・リソ・OA 用紙使用量が、目標に比して、市ヶ谷で 4%減、多摩で 2%減。廃棄物排出量が市ヶ谷で 42%減、多摩で 21%減であったことが報告された。

3. その他

環境センターより、6/22 より実施された環境維持審査で、一般廃棄物・コピー・リソ・OA 用紙使用量等のデータについて、環境関係の委員等だけでなく、広く公開すべきであるとの指摘を受けたため、環境センターのホームページで公開することとなったとの報告があった。

議題

1. 2010 年度活動報告と 2011 年度の活動目標

(1)省資源と廃棄物抑制に関する事項

2010 年度の成果、とくに廃棄物排出量の削減は、リサイクルペーパーの回収が普及した効果が大いことを確認した。今後の対応として、①用紙の使用量そのものを減とする工夫が必要なこと、②多摩キャンパスに関しては、ミックスペーパーの回収についてさらに徹底する余地があるとの意見が出された。

この議論に基づき、①用紙の使用量を減とするため、グループウェアの利用普及の可能性について検討する。これについては、座長と柴岡委員で情報センターに聞き取り調査を行う、②多摩キャンパスのミックスペーパー回収徹底については、事業室金子委員と多摩総務濱田委員で対応を検討する、以上を行い次回報告することとした。

(2)ゴミ分別体験の実施

昨年度好評であったことから、今年度も実施することとし、市ヶ谷では、10 月と 12 月、多摩では今年度初めて 1 度実施を目標とすることとした。

参加メンバーに関しては、環境センターより、人事と協議の上、2 年目職員の研修の中に位置づける方向で検討していること、また、学生センター洪澤委員からは、学生の参加について、昨年の学祭実行委員やサークル支援機構メンバーに加え、一般学生にも参加を呼び掛けたいとの報告があった。

(3)次回について

第 2 回については、環境保全委員会に日程とゴミ分別体験の日程を考慮して決定する。

以 上

環境センター	担当